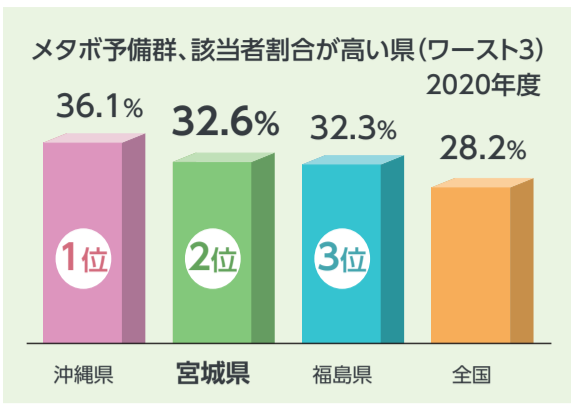


多様なサポートで職場での健康づくりを応援

県もこの状況に危機感を抱き、健康づくりに取り組む企業への支援をはじめ、さまざまな施策を行っています。その一つが、産官学の協力のもと県民の健康づくりを推進する運動「スマートみやぎ健康会議」です。2016年に設立し、現在は登録団体数が900を超え、着実に浸透しています。また、県内各市町村にお薦めのウォーキングコースを設け紹介するなど、社会環境の整備にも努めてきました。加えて、2020年から始まったのが「脱メタボみやぎ健康3・15・0（サイコー）宣言」。減塩「あと3g」歩こう！あ



県民の健康課題改善へさまざまな施策で後押し
従業員が健康でいきいきと働く職場をつくり、生活習慣の改善を図る「健康経営」。近年耳にする機会も増えているのではないだろうか。この健康経営が、生産性の向上や離職率の低下、優秀な人材確保など企業へのメリットにもつながるとして、今や多くの企業が積極的に取り組んでいます。しかし、その一方で宮城県民のメタボリックシンドロームの該当者および予備群の割合は、2008年以降全国ワースト3位以内という不名誉な記録を更新中。そのほかにも「歩かない人が多い」「塩分過剰」「喫煙者が多いなど、県民の健康課題は山積みです。



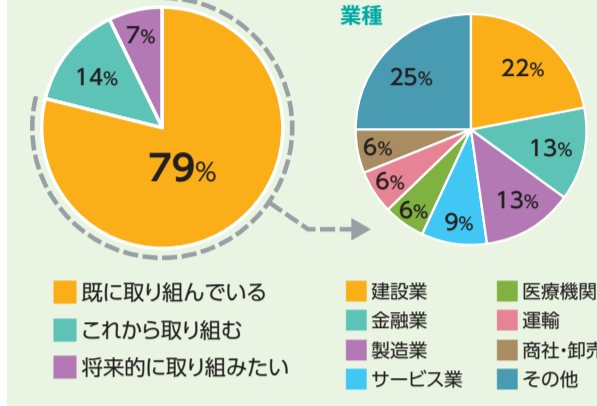
今や常識!? 「健康経営」

取り組む企業拡大中

企業が従業員の仕事と体の健康を大切な資源ととらえ、積極的に職場での健康づくりを支える健康経営。今や企業規模の大小を問わず取り組むことが常識になりつつあります。健康みやぎサポーターズが健康経営の取り組みを後押しする「健サポフレ」も登録企業が110社を突破。これまでの経緯や登録企業の活動の様子などを紹介します。



「健サポフレ」登録企業・団体の健康経営取り組み状況



業種別の取り組み状況

| 業種 | 割合 |
|--------|-----|
| 建設業 | 25% |
| 医療機関 | 22% |
| 金融業 | 13% |
| 運輸 | 13% |
| 製造業 | 9% |
| 商社・卸売業 | 6% |
| サービス業 | 6% |
| その他 | 6% |

健サポフレから地域密着の情報を提供
健康経営の推進啓発を目的に、河北新報社が展開するプロジェクトが「健康みやぎサポーターズ」です。2019年4月のスタートから定期的に紙上で情報発信を行っています。「健康経営勉強会」を開催。勉強会では、企業経営者や労働管理者を対象に、有識者の講演や全国健康保険協会(協会けんぽ)が提供するサポートメニューや、協賛企業の取り組みなどを紹介しています。また、職場での健康づくりに関与する情報紙を毎年作成。協会けんぽ宮城支部会を企業を中心に広く配布するなど、健康経営の重要性・必要性を呼び掛けている。

サポートを利用してまず第一歩踏み出そう
コロナ禍に突入して丸3年が経過し、職場での従業員の健康づくりへの関心、健康経営推進の期待はますます高まる一方です。健康経営を取り入れた結果、社内に活気が生まれ、業務の効率が上がったりと、成果を実感する企業も増えてきています。「食」運動「メンタルヘルス」など、どの分野でもすぐに取り組めることがたくさんあります。多くのサポートや情報を上手に利用して、まずは小さなことから一歩を踏み出してみませんか。

健サポフレから地域密着の情報を提供
健康経営の推進啓発を目的に、河北新報社が展開するプロジェクトが「健康みやぎサポーターズ」です。2019年4月のスタートから定期的に紙上で情報発信を行っています。「健康経営勉強会」を開催。勉強会では、企業経営者や労働管理者を対象に、有識者の講演や全国健康保険協会(協会けんぽ)が提供するサポートメニューや、協賛企業の取り組みなどを紹介しています。また、職場での健康づくりに関与する情報紙を毎年作成。協会けんぽ宮城支部会を企業を中心に広く配布するなど、健康経営の重要性・必要性を呼び掛けている。



健サポフレに聞きました!

株式会社プロソリューション 仙台本社
管理部 山本 美枝さん

A1 健康経営勉強会への参加や、ほかの企業の取り組みを知ることができ、健康づくりのヒントを得ることができました。

A2 定期検診後、有所見者には受診を積極的に勧めたり、定期検診に婦人科検診を組み込むなど、検診内容を見直し強化しました。そのほか、メルマガや社内報、WEBセミナー、イベントなどで健康情報を提供。さらに、健康支援アプリを導入しました。

A3 今後も、宮城県内の健康課題や最新情報を共有していきたいと思っています。できれば、健サポフレ登録企業の交流の場があれば、問題解決や情報交換の機会になるのではないかと考えています。

Q1 >>> 健サポフレに登録してよかった点

資材リンクコム株式会社 東北支店
東北物流センター 所長 本田 勝彦さん

Q1 >>> 健康経営優良法人認定制度と職場健康づくり宣言は、取り組むべき内容に網羅性があり、かつ職場の現状把握に役立っています。

Q2 >>> コミュニケーションの活性化として、始業時ミーティングで一人一言と一人一人の健康・検温状態宣言をしています。また、資格を持つ職場の代表者による事故事例、働き方改革の状況および健康環境の意見交換の場として「安全衛生委員会」を運営しています。

A3 発信される情報は、職場の現状と照合または違った角度から考察することができるとなっています。特に健康経営勉強会は、年1回の認証更新審査に臨む位置づけとして参加します。

Q3 >>> 「健康みやぎサポーターズ」への感想・要望

全国土木建築国民健康保険組合 仙台健康支援室

A1 地元企業の皆さまの健康づくりの状況を知ることができ、健康経営勉強会では、より知識を深めることができました。

A2 食生活改善に向け、冷凍食品を使ったワークショップに参加したり、栄養バランスの良い宅配弁当を利用。運動面では、宮城県主催のウォーキングイベントに参加しました。ヘルスリテラシー向上のため、健康づくりに関するWEBセミナーなども聴講しています。

A3 皆さまの取り組みを興味深く読ませていただいています。いつか当室が支援している事業所の取り組みが掲載されることを夢見て、日々励んでいます。

「健康経営情報紙」を発行しました!



今すぐ実践できる健康的な職場づくりと健康経営のヒントやアイデアを紹介!

ご希望の企業・団体さまは健サポフレにご登録ください!

ご登録いただいた後、健康経営情報紙をお送りします。

※数に限りがございます。お早目にお申し込みください。

投稿募集 教えて!あなたの職場の健康づくり

気軽にできる運動、食事のアイデア、心のケア、コミュニケーションづくりなど、すぐに取り組めることから、ほかにはないレアな取り組みなど、どんなことでもOK。今すぐご投稿ください。

各社の取り組みを河北新報で紹介

投稿いただいた中から数社に取材し、その取り組み事例を「健康みやぎサポーターズ」特集紙面(2023年6月予定)内で紹介いたします。

募集締切 2023年 2月28日 17:00

投稿には「健サポフレ」への登録が必要です。登録がお済みでない場合は、下記「健サポフレ」募集要項をご覧ください。

健サポフレ募集!

職場での健康づくり(健康経営)に

- 1 取り組んでいる
- 2 取り組む予定がある
- 3 取り組みたいと考えている

以上のいずれかに該当する、宮城県内に事業所を有する企業・団体であること。

登録のメリット

- 「職場での健康づくり勉強会」などに、優先的に参加可能。
- 「職場での健康づくり情報紙」などを職場まで、優先送付。
- 「健康みやぎサポーターズ」協賛社による、サービス提供・商品サンプリング・ミニセミナーなど。
- 健康経営・職場での健康づくりに関する、情報の提供・質問への回答・取り組み支援など。
- 登録各社からの情報や取り組み事例を、河北新報特集紙面および特設WEBサイトで紹介。

その他、健康づくりに関するさまざまなメリットを提供する、双方向の会員組織を目指します。

登録料・会費 無料

健サポフレ 新規登録はWEBサイトから

健サポフレ 検索

<https://www.kahoku.co.jp/ad/health-supply/entry/>

お問い合わせ 健康みやぎサポーターズ事務局(河北新報社営業局営業部) Tel.022-211-1318 10:00-17:00(平日のみ) 企画・制作/河北新報社営業局